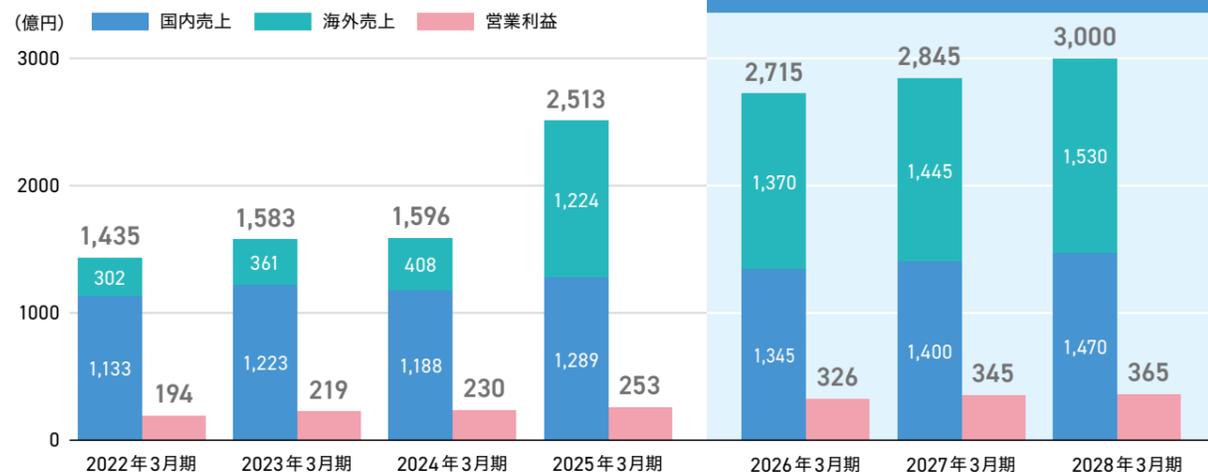


中期経営計画 2025-2027

売上収益・営業利益



2025年3月期の振り返り

単位: 億円

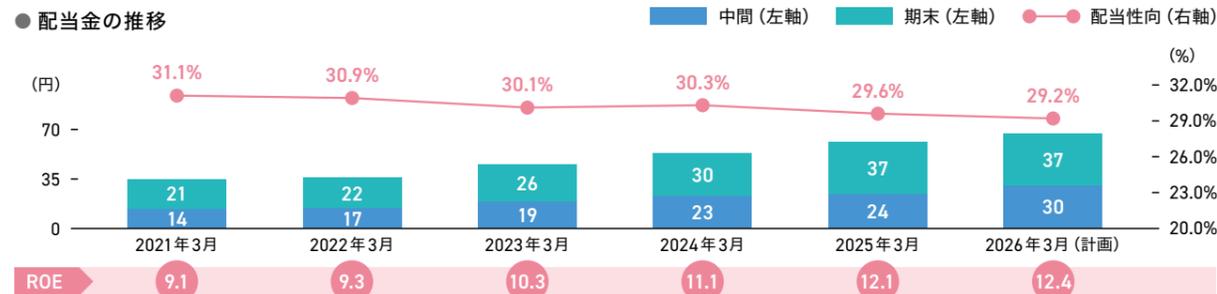
	売上収益			セグメント利益		
	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比
国内機器販売事業	773	841	+67	82	74	▲7
国内メンテナンス事業	414	446	+31	113	123	+9
海外機器販売事業	296	797	+500	28	81	+53
海外メンテナンス事業	111	427	+315	14	75	+61
合計	1,596	2,513	+916	237	355	+117

(注) 従来の営業利益にかわりセグメント利益の表示に変更しております。

国内	国内機器販売事業の売上収益は、前期比8.8%増。食品機械の大型案件の販売や、船用機器、アクア機器、ボイラで販売が堅調に推移し増収となりました。セグメント利益は前期比9.3%減。原材料価格上昇、ミウラフェア（自社イベント）開催等の営業活動に伴う費用増加や販売機器構成の変化が主な要因です。
海外	海外機器販売事業の売上収益は、Cleaver-Brooks社の買収や、韓国における堅調なボイラ販売の推移により増収しました。売上収益増加に伴い、セグメント利益も増加しています。
メンテナンス事業	国内および海外ともにメンテナンス事業は堅調に増収となりました。

株主還元

安定的な配当の継続を目指し、2026年3月期も増配を計画しています。



参考: 発行済株式総数125,291,112株、(うち、自己株式数9,601,315株) ※2025年3月31日現在

国内

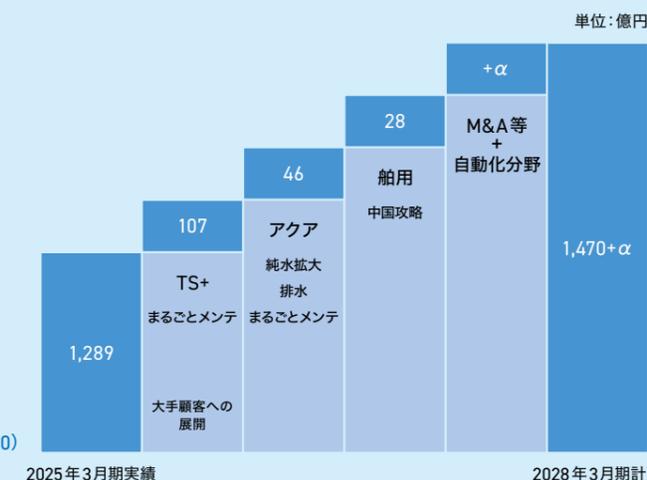
中期計画は経営環境の変化に応じて毎年見直す「ローリング方式」から、3年後の目標値を固定する「固定方式」へ変更いたしました。この変更により3年後の目標値を明確化して取り組んでまいります。

国内事業戦略

コンセプト トータルソリューションの深化

ボイラで培ったお客様との信頼関係をベースにトータルソリューション (TS) とワンストップサービスの積極展開で事業領域拡大。

- まるごとメンテナンスサービス (▶P35-36)
  - 見守りサービス ● 当社以外の機器メンテナンス
- アクア事業
  - 純水・排水事業領域の拡大 (▶P38)
- 食品機械事業
  - 冷水レトルト市場領域の拡大 (▶P38)
- メディカル事業
  - 洗浄・滅菌市場領域の拡大 (▶P39)
- 船用事業
  - シップトータルソリューションで付加価値向上 (▶P26・P40)

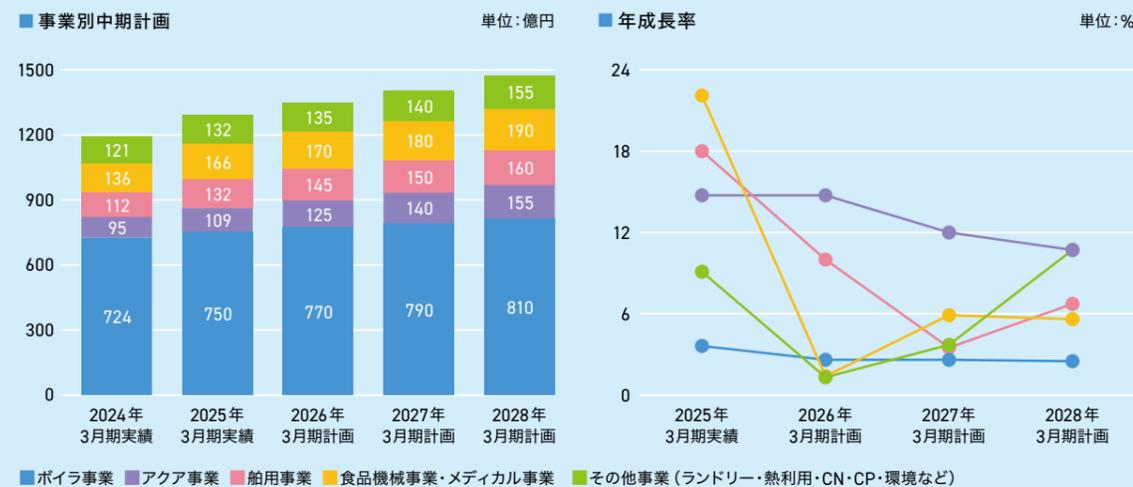


2025年3月期実績

2028年3月期計画

事業別中期計画

ボイラ台数の緩やかな減少が想定される中、持続可能な国内事業の成長を維持するために まるごとメンテナンスサービス&アクア事業の事業領域拡大を積極的に展開していきます。



# 海外

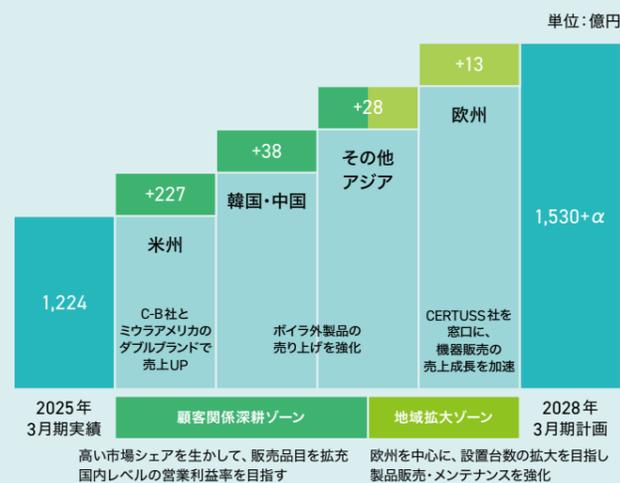
中期計画は経営環境の変化に応じて毎年見直す「ローリング方式」から、3年後の目標値を固定する「固定方式」へ変更いたしました。この変更により3年後の目標値を明確化して取り組んでまいります。

## 海外事業戦略

### コンセプト グローバルにおける、顧客とのパイプライン拡充戦略

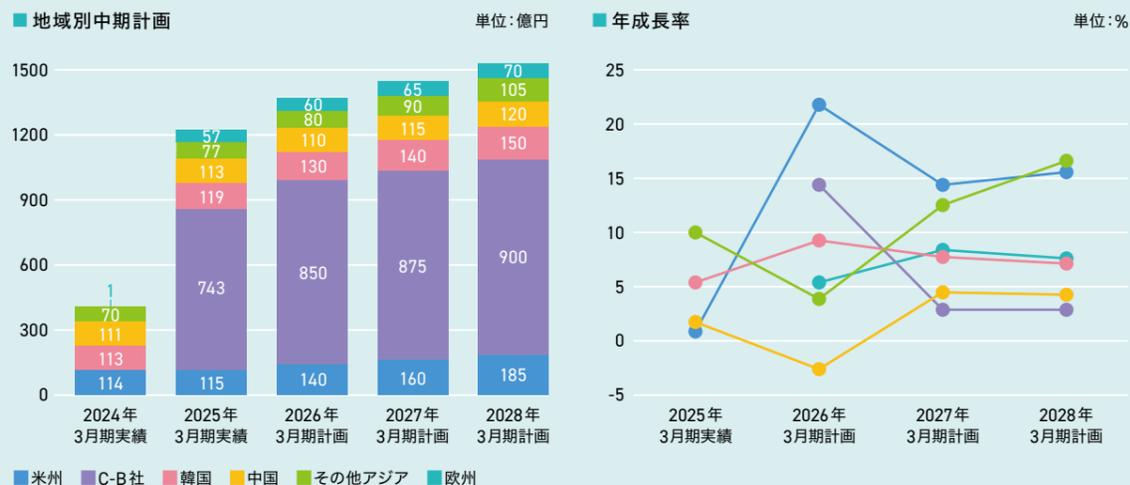
地域を明確化して、より現地事情にマッチした活動を実施し、各市場にマッチした熱プロバイダーへの変革を目指す。(▶P27-32)

- 戦略1: 地域拡大ゾーン  
欧州(含むトルコ)・インド・中東・一部東南アジア
- 戦略2: 顧客関係深耕ゾーン  
東アジア・北米・一部東南アジア



## 地域別中期計画

グローバル市場における、顧客とのパイプライン拡充戦略を通じて、ミウラ・Cleaver-Brooks社・CERTUSS社が密に連携協力しながら、盤石なグローバル顧客基盤を再構築していきます。



## 船用事業

### ミウラのシフトータルソリューションでお客様へ貢献

執行役員 船用事業ブロックブロック長 山本 健士

船用事業は1967年に補助ボイラから始まり、現在では環境対応のバラスト水処理装置、マイクロプラスチック回収装置の他、焼却炉、浄水器など機関室を中心に製品を提供しています。80名超のフィールドエンジニアによるメーカーメンテナンスと、開発から保守まで一貫対応する「シフトータルソリューション」が当事業の強みです。「故障させない」ピフォアメンテナンスの徹底、環境対応製品の開発・提供に力を注ぎ、トータルソリューションを拡大しています。また、国内外に拠点を展開し、舟山、南通、台北、シンガポール、アムステルダム、ヒューストン、イスタンブールなどグローバルな体制も強化。2027年度には「考動=考えて行動する」組織として、安定運航に貢献し、海運・造船業の皆様へ「ミウラと共に歩みたい」と思っただけの存在を目指してまいります。



## シフトータルソリューション Total Solution For Ships

